



# 宇 検 村 立 久 志 小 中 学 校

児童生徒数 17人  
学級数 5クラス



テーマ

「みつめよう つなげよう みんなの心」  
～ 児童生徒が自分らしく生きるための人権教育 ～

## 研究に当たって(テーマ設定の理由)

人権教育の目標である「人権尊重の精神の涵養」を達成するためには、人権に関する基本的な知識を学んで獲得した知的理解と人権感覚を基盤として、自分と他者との人権擁護を実践しようとする意識・意欲や態度を向上させること、その意識・意欲や態度を実際の行為に結びつける実践力や行動力とともに、自尊感情と人権感覚の涵養が必要だと考えた。

## 研究スケジュール

6月15日(月)小5年研究授業「久志っ子人権宣言」  
6月22日(月)中1・2年研究授業「奄美の歴史について」  
8月4日(火)子どもの人権プロジェクト研修  
11月10日(火)大島地区人権教育公開研究会(小1・2年,小3・4年,小5年,中1・2年研究授業)  
12月17日(木)子どもの人権プロジェクト研修  
2月22日(月)小1・2年研究授業「みんなのよさを知る」  
中1・2年研究授業「ちがいを認め合おう」  
3月8日(月)子どもとの関わりから学んだこと  
研修のまとめ(今年度の取組の共有)

## 特色ある取組(他校にもおすすめの取組)

### □ テーマ日記

児童生徒の自己表現力の育成,人間関係づくり,人権感覚の高揚などを目的に,自分の思いや考えを素直に表現する場として,身近な人権問題をテーマにした日記を書いたり,書いた日記を相互に交流したりする取組を行った。

### □ ゆいタイム(朝活動)

「ゆいタイム」とは,月1回身近な人権に関するテーマについて各班で話し合い交流する時間である。人権課題についてグループで考え,意見を交流することを通して,人権意識や人権感覚を高めることを大きな目的とし,思いや考えを伝える自己表現の場,考えを受容する他者理解・相互理解の場になっている。様々な意見に触れることで,思いや考えが多面的・多角的に変化する楽しさを感じられるようになった。

### □ ふるさとに関する教材を用いた授業実践(総合的な学習の時間)

地域人材に協力していただき,ふるさとである地域の歴史,文化,自然について知識を深めることで,自然や文化と共生し,技や知恵を守り続けてきた屈強で温かい先人の生き方を学んだ。主体的で対話的な探究活動を通して,自分の生き方について考える価値的・態度的側面や自分を大切に,ふるさとを愛し,誇りに感じる心が醸成された。

### 「ゆいタイム」のテーマ例

- ・ 呼び方について考える
- ・ ネットとの関わり方
- ・ いじめについて考える
- ・ 無自覚にしている差別
- ・ 大好きなふるさと
- ・ 誰もがくらしやすい社会



【授業の様子】

## 子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題(子どもや教職員の変容,今後やってみたいこと)

- 誰もが自分と同じかけがえのない人間として生きていることや,誰もが自分の知らないことや人,概念に対して畏怖や嫌悪を感じるという人間理解を通して,全ての人を大切にするために必要な人権に関する正しい知的理解を身に付けようとする関心・意欲・態度面が,児童生徒はもちろん教職員,家庭・地域とともに高められた。また,教職員においては,特に児童生徒との関わりを通して,自分自身の立ち位置や有り様について捉え直す機会となり,今後も自分自身を問いながら児童生徒と向き合おうとする意識が高まった。